



9月15日

トガリネズミへの理解を深める トウキョウトガリネズミ展

町主催の「トウキョウトガリネズミ展」が公民館で開かれました。同展は午前と午後の2部構成で行われ、第1部はトガリネズミ研究家の河原淳氏が「骨をさわって比べてみよう！トウキョウトガリネズミと北海道の動物」と題して講習を行いました。第1部には11人が参加。河原氏は、道内に生息するトウキョウトガリネズミを含む10種類の動物の頭骨と剥製を用意し、参加者はその頭骨を持つなどして、どの剥製の頭骨なのかを推測しました。その後は、拡大鏡などを使ってトガリネズミ4種の歯を見てトガリネズミを同定しました。

第2部には31人が参加。河原氏と自然写真家・ディレクターの六田晴洋氏が講師を務め、それぞれ講演しました。河原氏はトガリネズミの生態などを説明し、「トウキョウトガリネズミは目が見えておらず、超音波を出して獲物を捕獲する」などと話しました。六田氏は「巣はどこにあるのか」「冬は何を食べているのか」「夏以外はどこにいるのか」というトガリネズミの3つの謎を解くため、いろいろな活動をしていることを話し「1つの謎を追つていると違う新たな謎がでてくる。答えを知るよりも謎に直面した方がおもしろいかもしれない」と話していました。



1. 動物の頭骨をさわって重さを推測する参加者。2. トガリネズミの生体を説明する河原氏。3. 講演後のファンミーティングでは、参加者から「植物性のものは食べるのか」「季節によって体重の増減はあるか」などといった質問が多数寄せられました。



天然ブリの畜養は日本で初の取り組みです



写真上／極寒ブリを手に黒田代表。写真下／鮮度保持したブリを試食。「とてもおいしい」と高評価を得ていました。

9月14日

極寒ブリ価値向上図る 天然ブリ「鮮度保持畜養施設」

「極寒ブリ」を使った商品開発を行っている株式会社イミュー（黒田康平代表）は、極寒ブリの価値向上を図るために、町と白糠漁業協同組合との官民連携で、日本初となる天然ブリの「鮮度保持畜養施設」を建設しました。この日は、同施設の内覧会が行われ、関係者など約30人が出席。白糠漁港内にある同施設を見学した後、鮮度保持された「極寒ブリ」を試食しました。

9月6日

映画「シサム」の全国公開を記念 「シサム」フレーム切手贈呈式

日本郵便株式会社北海道支社は、映画「シサム」の全国公開を記念し、8月30日から同映画のオリジナルフレーム切手を道内86郵便局で販売しています。

この日は、役場でフレーム切手の贈呈式が行われ、釧路地区連絡会地区総括局長の浪岡雅彦・釧路鳥取郵便局長が棚野孝夫町長に切手を手渡しました。浪岡局長は「町の発展に貢献できれば」と話していました。



フレーム切手を手に浪岡局長（左）と棚野町長

9月14日

監督や出演者が白糠での思い出語る 映画「シサム」舞台あいさつ

白糠で撮影された映画「シサム」の公開を記念した舞台あいさつが、イオンシネマ釧路で行われました。

舞台あいさつは、中尾浩之監督や主演の寛一郎さんなどが登場し、出演者の和田正人さんは「地元の方と仲良くなり一緒にゴルフをしたのは良い思い出です。交流を深められたことで役作りにもつながった」などと撮影時のエピソードや白糠での思い出を語りました。



満席の観客を前に中尾監督（右）と出演者たち



Funperimse（クジラの踊り）を行う会員たち

9月1日

神の恵みクジラに感謝 第29回フンペ祭イチャルパ

アイヌ伝統儀式「フンペ(クジラ)祭イチャルパ」が、ウレシバチセなどで行われました。

この日は、ウレシバチセでカムイノミを行った後、会場をFunperimse発祥地碑広場に移し、ヌサンオカミとイチャルパの儀式を行いました。最後に白糠アイヌ文化保存会と白老アイヌ協会の会員が、神の恵みクジラに感謝を伝えるFunperimseを奉納しました。



快晴の下伸び伸びとプレーする参加者

9月8日

優勝目指して楽しくプレー 第23回町長杯パークゴルフ大会

第23回町長杯パークゴルフ大会がしらぬかパークゴルフインチャロで開催され、町内外から男性70人、女性35人が参加し、白熱した試合を繰り広げました。

男性は白糠町の伊藤幸雄さん、女性は釧路市の中西ひろ子さんがそれぞれ優勝しました。

【男性の部】準優勝・成松弘計さん（釧路市）

【女性の部】準優勝・福井恵美子さん（釧路市）